

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	精神疾患とその治療		
担当者(Instructors)	堀 篤実	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

代表的な精神疾患について概説し、その症状、経過、治療法等に関する知識を得る。精神医学の診断や治療の基本的な考え方を展望し、代表的な精神疾患の症状・経過・治療などについて解説するとともに、関連法規や社会制度の概略を学ぶ。さらに、それぞれの疾患に対する心理的支援の方法、家族、当事者のできることを学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式を中心に、授業の内容に応じて課題のディスカッション、グループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	精神疾患とは	精神疾患の概要を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第2回	精神疾患の診断	診断の手順とそれに用いられる診断基準の基礎を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	薬物療法	精神疾患の薬物療法について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	心理療法	心理的支援・心理療法について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	リエゾン精神医学・多職種協働	リエゾンと多職種協働、チーム医療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	統合失調症	統合失調症の陽性症状や陰性症状、成因論、当事者活動について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	気分障害	うつ病概念の変遷、気分障害の心理療法・薬物療法の効用について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	強迫症・不安障害	不安障害・強迫症の概念・症状・経過・治療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	適応障害	適応障害、PTSDの概念・症状・経過・治療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	依存・嗜癖の問題	身近な依存や嗜癖の問題について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	神経発達症群	発達障害の概念を理解し、主な発達障害の特徴と療育、発達期の諸問題に対する対応を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	児童・思春期における心理的問題	思春期・青年期に関連の深い精神疾患の概念・症状・経過・治療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	女性の心理的問題	性差に関連の深い精神疾患の概念・症状・経過・治療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	高齢期の心理的問題	高齢者に関連の深い精神疾患の概念・症状・経過・治療について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	授業で学習したことの振り返りとまとめの課題を実施する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

各回の内容について、事前に講義内で示されたキーワードについて調べ、その内容を理解する(2時間程度)。授業前までに次週で扱うテーマの中にある言葉について調べてくる。授業後は配布資料を参考に授業内容を振り返り、自分で調べてきたことと照らし合わせてキーワードについてまとめる(2時間程度)。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、講義後に振り返りを提出する。それは採点され、翌週フィードバックし、全体で共有したほうが良い内容については次回授業の冒頭で紹介する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	精神疾患の基本的知識を習得し、問題意識をもって、解決方法を探求することができる。
主体性	◇ 2019人間健康DP3	様々な関係機関との連携について学び、主体的にかかわることができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			50%	50%

授業内試験等 (具体的内容) (Specific contents)

毎授業後、振り返りの課題、またはレポートを提出する (40%)。
 授業 (グループワーク含む) への参加態度、意欲などを総合的に判断する (10%)
 授業の振り返りとまとめの課題として試験を実施する (50%)。

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	必要に応じて資料を配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	特になし	
2		
3		
4		
5		